

団体名		社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会						
①	指標名	「ちょこっと出先で生活相談」事業の実施			目標値	年間12回	実績値	年間15回
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	125.0%	達成状況	達成
	(単位:回)	—	—	3				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施場所として、商工会議所のニュースレターへのチラシ封入（令和5年度実施）を行うなど店舗や企業等に働きかけを行い、「殖産ベスト（吉祥寺東町）」、「トヨタモビリティ東京武蔵野関前店」で実施できた。 ・実施地域に偏りがないように、実施場所を選定した。 ・事業周知と下半期の実施一覧を掲載したチラシの全戸配布によるPRを実施した。その他、実施地域の地域社協等の協力により、チラシ配布や住民へのPRに協力いただいた。 						
	一次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数については、当初目標以上に実施することができた。 ・実施場所の選定にあたり、担当者により実施スケジュールを意識して開催候補先に打診ができたため、実施回数の達成につながった。 ・地域社協にPR協力していただいたところやカフェなどが集まる場での開催の際は相談者がいたが、この事業のために場所を借りたところなどでは参加者がいないこともあったため、今後は他事業との合同実施など、参加者を増やす方策を検討して実施していく。 ・今後は、相談内容に応じた適切な対応や支援（関係機関への連絡等）のあり方を精査し、この取組における参加者の充実度を高めていくための方策を検討する。 						
二次評価	目標としていた実施回数を上回ったことを評価する。今後は今年度の実施状況を踏まえて、より効果的な取組みとなるよう実施方法について検討されたい。							
②	指標名	会費収入			目標値	2,750千円	実績値	2,824千円
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	102.7%	達成状況	達成
	(単位:千円)	3,129	2,909	2,758				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員になるメリットとして会員優待サービス協力企業を増やすため、地域社協の紹介等により協力依頼を実施した。 ・令和5年度から開始したクレジットカード決済について、SNSやWEB媒体でのPRのほか、既会員等の関係者に対しても新たな納付方法としての案内を実施した。 ・理事、評議員、地域社協運営委員、VCM活動会員等の本会関係者の会員未加入者に対して、会員加入依頼を送付し会員勧誘を実施した。 						
	一次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・会員優待サービス協力企業数は、令和5年度12件、令和6年度12件（1件増加1件減少）、令和7年度13件（1件増加）となった。 ・会費納入のクレジットカード決済数が前年度27件から43件（うち新規9件）に増加した。 ・地域社協構成団体（福祉施設）や団体会員構成員の個人入会、個人会員からの増額等により、特別賛助会員は前年度比10件増加した。 ・広報活動の重要性を鑑み、武蔵野市民地域福祉活動計画を受け、その実現に向けた事業や組織等における具体的な取組みをまとめた「武蔵野市民社会福祉協議会発展・強化計画（令和8～13年度）」を策定し、広報全般の見直しを行う。 						
二次評価	昨年度の実績値及び目標値を上回ったことを評価する。引き続き、積極的な広報により会員増加を目指していただきたい。またクレジットカード決済が増加し、安定的な納入につながっているため、今後も納入方法の選択肢の一つとして、周知に努められたい。							
③	指標名	人材育成指針			目標値	人材育成指針の作成	実績値	方針変更
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	達成率	—	達成状況	未達成
	(単位:)	作成に向けた情報収集・検討	人材育成指針（骨子案）の作成	人材育成指針案の作成				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指針の作成にあたって、他区市の社協や他団体の育成指針を収集したが、組織の規模が異なるなど、そのまま落とし込むことが馴染まないものもあるため、市民社協に沿った内容となるよう5年度までの作成案から構成の見直しを行った。 ・見直しに基づき、人材育成指針の案を作成したが、実態に即した内容とすることが困難であった。 						
	一次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成指針に関する取組は令和3年度から行っているが、組織規模が小さすぎるため、実効性を伴う内容とすることに苦慮しており、数年にわたり検討を行っても単独でまとめるには至らなかった。 ・上述のことから、単独での作成は行わず、「第5次武蔵野市民地域福祉活動計画（令和7～12年度）」をふまえて令和7年度に策定する「市民社協発展強化計画（令和8～13年度）」における「組織運営方針」の中で、「人材育成指針」について記載することとした。 						
二次評価	「市民社協発展強化計画（令和8～13年度）」の策定に合わせて、より実効性の高い、人材育成に必要な取組みについて検討を継続していただきたい。							